



ブータン支援活動報告

第9回STARプログラム RTC生徒来日!

1月26日から2月5日の間、ロイヤル・ティンブー・カレッジ (RTC) のSTAR (Study of Trust Achievement Respect) プログラム参加者が来日しました。本プログラムは2012年から継続しており、RTCの国際交流活動で最も古く、毎年参加倍率は5倍を超えています。今回、学生10名、職員2名、昨年1月に学長就任されたツェワン・タンディン先生も来日されました。

RTCは首都ティンブー山間にあり、ブータン初の私立大学として2009年に設立されました。経営、経済、人文、情報、社会科学、マスコミュニケーション、環境、看護、英語、ゾンカ語と10学部を揃え、学生数は1200名を超えます。今後は、スポーツ教育にも取り組む予定です。

11日間の滞在で、STARプログラム参加者は、日本の習慣・所作・作法を実際の生活から学び、宮澤保夫理事長からは思想性の大切さ、両国と両校の歴史を教示して頂きました。紙漉き体験、星槎中学・高校、星槎国際小田原、星槎大学・大学院からは星槎が実践する関わり合い、共生、場所文化、星槎大学の先生から実際に授業をしてもらい多くの学びを得ることができました。小田原城、鎌倉大仏、高德院鎌倉、国立研究開発法人海洋研究開発機構、国立天文台の訪問からは、地域文化や場所文化についても探求しました。

尚、世界こども財団職員兼東京大学公共政策大学院修士1年生ペマ・セルダンさん、星槎国際八王子・高尾スタッフのジミー・ドルジさんが常時帯同しプログラムのサポートを行いました。2人は、RTC卒業生でありプログラム参加者の先輩でもあります。また、星槎大学アコモデーションコース陸上部1年生のツェリン・ペンジョさんも体験授業等でアシスタントを行いました。学長のツェワン・タンディン先生より「同じ理念を持ちながら場所や生徒、環境にあわせた違う学校がある。と



RTCの皆さんと宮澤理事長

でも興味深い。私たちも、色々な個性を持つ学生を入学させる仕組みに挑戦しようとしているところです」と感想を述べておられました。(FGC 石田博彰)



RTC 初和装体験



打鼓音による RTC 和太鼓体験



ミャンマー連邦共和国を訪問

ミャンマー

世界こども財団では、ミャンマーのオリンピック委員会、および同国の保健スポーツ省と協働し、スポーツを通じたミャンマーの青少年育成支援を実施しています。2020年2月、首都のネピドーを訪問しました。滞在中はミャンマーオリンピック委員会のミョー・ライン事務局長と会議を持ち、今年の東京オリンピック/パラリンピックへ向けた情報共有と協議を行いました。まだ最終確定はしていませんが、ミャンマーでも一つでも多くの種目で参加できるように、交渉や選手強化を進めており、

世界こども財団と星槎グループでも事前キャンプにて代表選手たちをおもてなしすべく、準備を進めていきます。また、現在ミャンマーからは空手競技の高校留学生3名を受け入れています。次年度も引き続き受け入れを実施するため、ネピドーのゴールドキャンプにて候補者のセレクションを実施しました。全国のスポーツ体育学校から、希望者30名以上が集まり、空手の競技や面接、筆記試験を行いました。(FGC 石井洋祐)



ミャンマーオリンピック委員会のミョー・ライン事務局長（写真左から3番目）と



ミャンマー全国のスポーツ体育学校から集まった空手選手たち

相馬市でサッカー交流を開催！

日本

世界こども財団と星槎グループでは、2011年3月の東日本大震災以降、被災地の子どもたちや青少年への支援事業として、サッカーを通して子どもたちに元気を与える交流プログラムを実施してきました。今年も1月18日、19日の2日間にわたり、相馬市の光陽（こうよう）サッカー場にて、星槎奥寺カップ2020とサッカースクールが開催され、両日とも100名を超える小学

生が参加しました。また、奥寺康彦さん、湘南学習センター男子サッカー専攻の岡本コーチ、さらに東京大学の学生ボランティアなど、多くの方がこのイベントをサポートするために駆けつけてくれました。1日目は小雪も舞い、寒さの中でのイベントでしたが、子どもたちの一生懸命にボールを追う姿と笑顔に、私たちが元気をもらった2日間となりました。(FGC 石井洋祐)



毎年駆けつけてくれる東大サッカー部OBのお兄さんはすっかり子どもたちの人気者



サッカースクール終了後、全員で記念撮影



高校留学生SKY プロジェクト参加！

1月30日、星槎国際湘南に在籍しているエリトリア、ミャンマーからの高校留学生6名が、SKY プロジェクトの一環として、箱根町仙石原幼児学園での国際交流イベントに参加しました。当日は、箱根町から仙石原幼児学園、箱根幼稚園、宮城野保育園から約20名の園児が参加し、ミニ運動会、給食体験、帰りの会などを楽しみ交流を深めました。
(FGC 井上美智代)



ミニ運動会で園児達とのリレーを楽しむカウン君



園児とすっかり仲良しになったメルハワイ君



帰りの会での交流の様子

デジェン君、東アフリカハーフマラソン選手権出場！

星槎大学にて共生科学部、アコモデーションコースを専攻しながら、陸上トレーニングに励んでいるデジェン君は、2020東京オリンピック、エリトリア代表1万メートル出場を目指しています。現時点でエリトリア国内2位につけており、課題はスタミナとスピードの強化で、昨年11月より、スタミナ強化の長距離トレーニングを行ってきました。その成果を試すため、2月

7日、エリトリア国で開催された東アフリカハーフマラソン選手権で初めてのハーフマラソン21.0975キロメートルに挑戦しました。結果は出場62選手中12位と健闘し、課題のスタミナ強化はクリア。今後は次の課題、スピードトレーニングに取り組み、オリンピックを目指していきます。
(FGC 井上美智代)



激走するデジェン君



東アフリカハーフマラソン選手権の様子



世界こども財団活動報告会

2019年度世界こども財団活動報告会開催

皆様のご支援に支えられ、世界こども財団は設立から今年で11年目を迎えることができました。昨年度の活動報告に加え、日頃の感謝の気持ちを直接お伝えする場として1月24日に大磯プリンスホテルにて世界こども財団活動報告会を開催し、多くの方々にご出席いただきました。

報告会では、エリトリア、ブータン、ミャンマー、日本

など国内外に対するスポーツ、教育、医療、福祉といった活動についての報告を行いました。その後に行われた懇親会では、星様に通う総勢11名の留学生達も参加し、支援者の皆様と直接お会いできる貴重な機会に、日頃のご支援に感謝し、支援者の皆様と和気藹々と交流しました。

(FGC 宮川翔太)



活動報告会の様子



懇親会の様子



懇親会には星様の留学生も参加しました！

法人会員様・ご協力団体様 紹介コーナー

このコーナーは当財団にお力添えをいただいております企業・団体様をご紹介します。

第5回 サントリービバレッジサービス株式会社 様 コグメド・ジャパン株式会社 様

**人々の生活にもっと
身近な自動販売機を
目指して**



**私たちは自動販売機を通じ
地域に密着したサービスを
提供いたします**

サントリービバレッジサービス株式会社
<http://www.sbv.suntory.co.jp/>

**コグメドジャパン
ワーキングメモリートレーニング**

JAPAN

ワーキングメモリを改善するためのエビデンスベースの介入

ワーキングメモリなどの認知機能を約3ヶ月の期間に改善し、注意や多動性、読字のための能力などを持続的に改善するエビデンスベースのトレーニングプログラムです。世界中で利用されているアプリ「オンライン標準化プロトコル」により、保護者を自分のコーチとなり、あるいはコグメドジャパンの認定コーチの支援を受けながら自宅や教育機関などのコーチと便利な場所からトレーニングできます。

トレーニング

コグメドジャパンのワーキングメモリートレーニングは、ワーキングメモリを訓練することで、子供・青年・大人が継続的に改善を達成することを助ける、科学的に証明されたプログラムです。

コグメドジャパンの認定コーチが認定した場所に関するスペシャリストのネットワークによって提供します。

iPadまたはAndroidタブレットを使用したトレーニング、家庭または学校などのタブレットを使用。

このプログラムは十分な科学的研究に基づいており、コグメドジャパンの認定コーチの指導の下に行われます。ユーザーの家や認定された医療機関などユーザーによって無料で参加がいつでも受けられることができます。

トレーニングのプログラム:

- 無料インタビュー (15分)
- スタートアップセッション (準備)
- 毎週のコーチが提供する8週間のトレーニング
- 終了後のためのミーティング
- ファイナルレポート

30分のトレーニングセッションが40回、約16週間終了。

コグメドジャパンの認定コーチがサポートします。コーチはトレーニングをリードし、結果を説明し、支援し、ユーザーの動機を高められます。

ユーザーと家族がコグメドのコーチとともに、大きな自由をもちてトレーニングのスケジュールを設定できます。

アプリ

コグメドジャパンのワーキングメモリートレーニングは、使いやすい直観的なアプリを中心に構築されています。



結果は簡単でしたら、毎日に使ったり、一人でする活動を行うためにもっと楽しくしているなど、いろいろなことにワーキングメモリを使います。

ワーキングメモリは読字や数学によって学習や社会生活を支える上で大変重要です。文章を読んだり、数学の問題を解いたり、計画を立てたり会話についていたりということは全て、ワーキングメモリに頼っています。

このプログラムやワーキングメモリについてさらに詳しくは、www.cogmed-japan.com をご覧ください。

JAPAN 経済クリニックのネットワークを通じてトレーニングをつけることができます。

コグメドジャパンについて詳しくは www.cogmed-japan.com へ、
ご不明な点でも 03-3499-5359 にお電話ください。

※本報告書は2019年12月現在 www.cogmed-japan.com/japanese/info/faq をご覧ください。



2020年3月発行

公益財団法人
世界こども財団

〒259-0111 神奈川県中部大磯町国府本郷 1805-2 (星様グループ内)
TEL. 0463-74-5359 FAX. 0463-74-5374 E-mail: fgc@fgc.or.jp
ホームページ: <http://www.fgc.or.jp> Facebook: 「世界こども財団」で検索!
印刷: フルサワ印刷株式会社 制作: 岡村直実 (JCユニット)

